Nissin DIGITAL コマンダー **Air 1**

キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラ用
ニコン製 デジタル一眼レフカメラ用

取扱説明書

ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

コマンダーAir1（キヤノン用/ニコン用）は、ニッシン独自の電波式ワイヤレスTTLシステム「NAS（Nissin Air System）」の送信機です。NASの受信機能を内蔵した機器を３グループ（最大21台まで）に分けてコントロール出来ます。なお、NASシステムは他メーカーのワイヤレスTTLシステムとの互換性はありません。

対応カメラ

最新の対応カメラー覧表は、
http://www.nissin-japan.comでご確認ください。

NAS ニッシンエアシステム（NAS）はニッシンストロボとニッシンコマンダー専用に設計されたシステムです。

- 2.4GHz帯（ISMバンド）※技術基準適合認定取得済み
- 使用可能範囲：最長30m（使用環境によって異なります）
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz帯を使用する他の機器などによって、NASシステムの使用可能範囲が制限される場合があります。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

⚠警告

- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

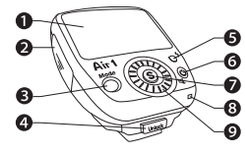
⚠注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。

⚠その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

各部名称



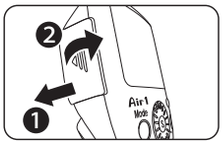
❶ LED表示パネル
❷ 電池カバー
❸ モード選択ボタン
❹ シューロック／ロック解除ボタン
❺ パイロットランプ
❻ 電源オン／オフボタン（ビープ音オン／オフボタン）
❼ セットボタン
❽ ストラップ取付穴
❾ セレクトダイヤル
❿ オートフォーカス補助光
⓫ 取付足
⓬ シュー接点ピン

基本操作

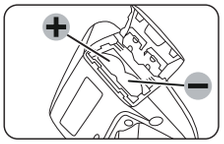
電池の挿入

使用できる電池： ニッケル水素電池（エネループ他）、アルカリ乾電池

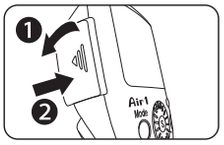
1. 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。



2. 単４形電池２本の＋－の向きを合わせて正しく挿入してください。



3. 電池カバーを①押してから②スライドさせて閉めてください。



❗注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電池の場合は、同時に充電した電池をご使用ください。

省電力モード

本機は、電池の消耗を防ぐために、省電力モードを備えています。
アイドル状態から４秒後にLEDランプが暗くなり、２分後にLEDランプが消灯します。省電力モード時はパイロットランプが２秒おきに点滅します。ボタンをどれか押すと、省電力モードから復帰しLEDランプが再点灯します。
本機の操作を60分間行わなかった場合は電源OFFになります。

リセット

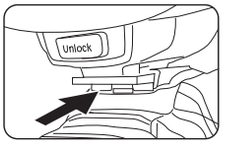
モードボタンを５秒間長押しすると、本機の全ての設定はリセットされ工場出荷時の状態に戻ります。

TTL　マニュアル　ズーム

カメラに装着する

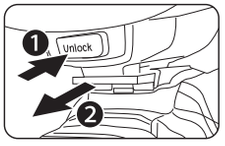
1. Air1の取付足をカメラのホットシューに挿入します。

2. 奥まで差し込むと、ロックピンでしっかり固定します。



カメラから取り外す

1. ①[Unlock]（ロック解除ボタン）を押しながら、②取付足を引き抜きます。



ワイヤレス撮影を行う前に

ワイヤレス撮影を行う前に、以下の手順にしたがって、コマンダーAir１（マスター）とストロボ（スレーブユニット）のペアリング設定を行ないます。

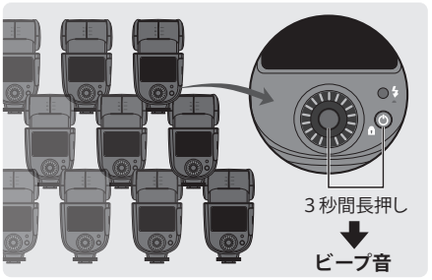
⚠ご使用前に必ずペアリング（ID）設定を行なってください。

【ステップ１】： 全てのユニットの電源をOFFにする。

【ステップ２】： 以下の手順でペアリング設定を行います。

① スレーブユニット（Di700AなどNASシステムの受信機能を内蔵するユニット）の設定

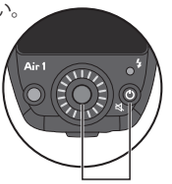
1. スレーブユニットの「セットボタン（**Set**）」と「オン/オフボタン（⏻）」を同時に３秒間長押ししてください。



2. ビープ音がなりますので、そのままで次に**Air1**の設定を行います。

②マスターユニット コマンダー Air1 の設定

1. Air1の「セットボタン（**S**）」と「オン/オフボタン（⏻）」を同時に３秒間長押ししてください。
2. パイロットランプが５秒間点滅した後、スレーブユニット（Di700Aなど）のビープ音が止まります。
3. これでペアリングは完了です。



※Air1はスレーブユニットに2～4秒遅れて設定が完了します。
※ペアリング作業が完了するまでスレーブユニットの操作を行わないでください。

３秒間長押し
↓
パイロットランプが5秒間点滅
↓

スレーブユニットのビープ音が止まるとペアリングは完了。

※複数台のスレーブユニットをお持ちの場合は、同様の操作を繰り返してください。

※21台までペアリングできます。

※複数台のスレーブユニットを1台ずつ順番にペアリングする時間を短縮したい場合は、先に何台かのスレーブユニットを長押ししてビープ音を出してから、最後に1回 Air1を長押しすれば、一度にペアリングができます。

❗注意

ペアリング設定は、電源をオフにしても設定が記憶されたまま残ります。テスト発光を行うときはコマンダーAir1のパイロットランプを押してください。

Air1の機能説明

各モードとグループの設定について

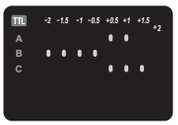
Air1 には3つのモード（**TTL**/**Manual**/**Zoom**）があります。各モードごとに **A**/**B**/**C** 3つのグループ制御が可能です。グループは **ABC** の比率を保ったままシフトすることもでき、また特定のグループを発光停止することもできます。

※後述「**特定グループを発光停止する場合**」を参照

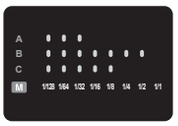
コマンダー Air1

●各モードの説明

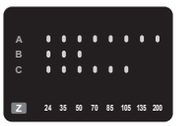
【TTL】TTLモード
発光量を自動調節するモードです。調光補正により発光量を補正することが出来ます。調光補正可能範囲-2EV～+2EV



【M】マニュアルモード
発光量を手動調節するモードです。発光量の調節可能範囲 1/128～1/1（フル発光）



【Z】ズームモード
照射角を手動調節するモードです。調節可能範囲24mm～200mm



スレーブユニット

【例】：Di700Aの TTLモード

グループ A

グループ B

グループ C

「スレーブユニット」と「Air1」の設定

※スレーブユニットの設定の前に「Air1」と「スレーブユニット」のペアリングが済んでいることを確認してください。

A. 先にスレーブユニットの設定をします。

1. 使用するスレーブユニット (例 Di700A) をどのグループで使用するのかを設定します。（使用するストロボの取扱説明書を参照して **A**/**B**/**C** の中から選んで下さい。）
2. 被写体から同じ距離にあるスレーブユニットであれば複数台を同じグループにセットすることも可能です。

B. 次にAir1の設定をします。

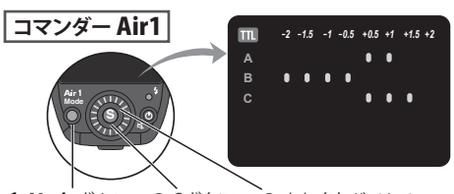
電源のオン/オフの仕方：

「オン/オフボタン」を押すと電源が入ります。手動で電源を切る場合は、「オン/オフボタン」を3秒間長押しします。

TTLモードでワイヤレス撮影をする場合

1. Air1 のモードボタンを押して **TTL** を選びます。
2. セレクトボタン（**S**）を押してグループ **A**/**B**/**C**/**ABC** を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。**ABC** が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回してください。調光補正値は -2.0EV ～ +2.0EV まで 1/2EV ステップごとに変更できます。

コマンダー Air1



1. **Mode**ボタン　2. **S**ボタン　3. セレクトダイヤル

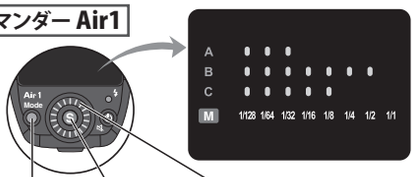
スレーブユニット【例】：Di700AのTTLモード

グループ A　グループ B　グループ C

「M」：マニュアルモードでワイヤレス撮影をする場合

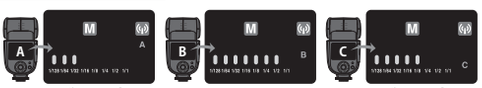
1. Air1 のモードボタンを押して「**M**」を選びます。
2. セレクトボタン（**S**）を押してグループ **A**/**B**/**C**/**ABC** を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。**ABC** が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 調光補正を行う場合は、セレクトダイヤルを回してください。発光量は 1/128 ～ 1/1EV まで 1EV ステップごとに変更できます。

コマンダー Air1



1. **Mode**ボタン　2. **S**ボタン　3. セレクトダイヤル

スレーブユニット【例】：Di700Aのマニュアルモード

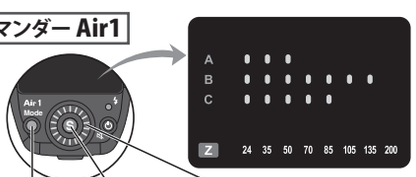


グループ A　グループ B　グループ C

「Z」：ズームモードでワイヤレス撮影をする場合

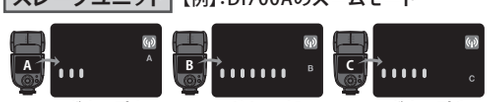
1. Air1 のモードボタンを押して「**Z**」を選びます。
2. セレクトボタン（**S**）を押してグループ **A**/**B**/**C**/**ABC** を選び、使用するスレーブユニットをコントロールします。選択中のグループが点滅します。**ABC** が全部点滅しているときは3つのグループの比率を保ったまま値をシフトすることが出来ます。
3. 照射角を変更する場合は、セレクトダイヤルを回してください。照射角は24mm/ 35mm/ 50mm/ 70mm/ 85mm/ 135mm/ 200mmに設定できます。

コマンダー Air1



1. **Mode**ボタン　2. **S**ボタン　3. セレクトダイヤル

スレーブユニット【例】：Di700Aのズームモード



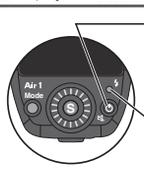
グループ A　グループ B　グループ C

※特定グループを発光停止する場合

発光を停止したいグループが点滅している時に「オン / オフボタン」を押すと発光が停止します。停止した発光を再開する場合は、セレクトボタンでそのグループを点滅させて、もう一度オン / オフボタンを押してください。

スレーブユニットのビープ音のオン/オフ設定

コマンダー Air1



1. オン/オフボタンを押す。
2. パイロットランプの色が変わります。

オレンジ色 … ビープ音「オン」
白色 … ビープ音「オフ」

ストロボの設置場所について

- **使用可能範囲：**最長30m（使用環境によって異なります）
- スレーブユニットはグループ**A**か**B**か**C**にセットして、マスターユニットから発光量をコントロールすることが出来ます。
- スレーブユニットは使用可能範囲内であれば、どの位置に設置しても構いません。
- NASは電波式ワイヤレス通信システムです。光学式ワイヤレス通信システムでは受光しにくい状況、例えば遮蔽物がある場所や日中の屋外などでもシンクロしやすいのが特徴です。（ただし使用環境により異なる場合があります）

チャンネル設定の切り替えが必要な場合

無線LANや他の電波式スレーブなど同じ2.4GHz帯を使用している通信機器の干渉を防ぐために、送信チャンネルを変更することが出来ます。

コマンダー Air1

1.「セットボタン（**S**）」を３秒間長押ししてください。
2. チャンネル設定画面に切り替わります。
3. セレクトダイヤルを回し、8つのチャンネルの中から1つ選びます。
4.「セレクトボタン（**S**）」を押すと決定されます。
5. スレーブユニット（Di700Aなど）のビープ音が鳴ります。
6. チャンネル設定は完了です。

３秒間長押し

セレクトダイヤルで チャンネルを１つ選び セレクトボタンを押す

スレーブユニットのビープ音が鳴り設定完了

Air1 のチャンネルを切り替えると、ペアリングされたスレーブユニットのチャンネルも自動的に切り替わります。

- ニッシンエアシステム（NAS）は、他のワイヤレス機器と混信しないように固有の ID が割り当てられます。
- 電波通信を行っている他のワイヤレス通信システムや他の無線機器との混信を防ぐために、通信チャンネルを切り替えることもできます。
- 本機ご使用の前に、マスターユニット（Air1）とスレーブユニットのペアリング（ID）設定を行いますが、通信チャンネルはペアリング設定時に自動で割り振られますので、最初はチャンネル設定は特に必要ありません。
- 通信チャンネルの切り替えは他の電波機器による混信が起こる時などに、混信を避けるために行なってください。

■主な仕様

対応カメラ	**キヤノン製EOSデジタル一眼レフカメラ、ニコン製デジタル一眼レフカメラ**
ワイヤレス方式	NAS（Nissin Air System）準拠の電波式
電波仕様	2.4GHz帯（ISMバンド） 技術基準適合認定取得済み
通信	事前にペアリング設定を行ったスレーブユニットと通信
チャンネル	8チャンネル（本機よりペアリングを行ったグループ全体のスレーブユニットを一括にて設定）
発光グループ	A/B/C 3グループ（グループ別制御、グループ一括制御、グループ別発光停止が可能）
電源	単4型2本（別売）
発光間隔	最速10回/秒
発光回数	約3,000回（アルカリ乾電池使用時）
使用可能範囲	最長30m（使用環境によって異なります）
動作モード	TTL…E-TTL/E-TTL II（キヤノン用）、i-TTL/i-TTL-BL（ニコン用） マニュアル…FULL～1/128、1EVステップ
ズーム調整	本機よりスレーブユニットの照射角変更可能（24/28/35/50/70/85/105/135/200）
ストロボ調光補正機能	-2.0～+2.0、1/2EVステップ（TTL）・1EVステップ（マニュアル） 各グループ毎及び全グループ一括で調整可能
後幕シンクロ	対応*
ハイスピードシンクロ/FP発光	対応*
スローシンクロモード（ニコン）	対応*
赤目軽減モード（ニコン）	対応*
赤目軽減+スローシンクロモード（ニコン）	対応*
AF補助光	有効距離0.7～5m
背面操作部	LEDカラーディスプレイ・ダイヤル式マルチセレクター
ファームウェアアップデート端子	あり（専用端子）
付属品	ソフトケース、三脚ねじ穴付きスタンド
寸法（幅x高さx奥行）	約60x50x65mm
質量	55g（電池除く）

*カメラ側で設定が必要です

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

★最新カメラへのファームウェアアップデート サービス（有償）やファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンホームページ、または、お問い合わせ窓口をご利用ください。

ニッシンホームページ：**www.nissin-japan.com**
TEL. 050-3736-7756